

SF研究

1971.

APR.

NO. 11

新会員歓迎号

★ SF研究会の実態

★ 会員の横顔

★ 会員名簿

明治大学

SF研究会

☆S.F.研の実態

。そのI (主にヒハンの)

まず第一に申し上げておきたい事は、この文の上では、S.F.研の実態をあまり書かず、所をく書き出すわけにはいかなり、というところである。とは言っても、S.F.研にまつて書きかたをこの悪いことがある、といった様子をわけてはなり。新入会員が絶望しないうちに、この親心がらである。

ところで本題にもどるが、一体このS.F.研とは何なのであるか？

会則では、S.F.研について「明治大学及び明治大学短期大学の学生を以て之を組織する。」とある。なるほどこれはまちがりでない。事実そのとおりなのである。しかし、当会の目的は何か？、これは会則のどこをさがしても、まったく見あたらない。つまり、当会の目的は、会員諸君の目的と同じなのである。このことからして、当会のムードを白けたものにしてゐる。つまり、これを「絶体」といったものをもったリーダーがいないのである。さながらS.F.という大きな山の上を、ゆるやかにながれる清水のごとく、みんなごより集まって「ガヤガヤ」しているだけで、だれも

そんなものがでるはずはないのだ。(とうは言て

その岩の中まで降り下りることが出来なうでいるのだ。もちろん、降り下りようと気がかたしてはいるのだが、S.F.という岩があまりにハードであるため、いまだにその上をなぞって、過ぎりくだけたになってしまっているのだらう。

会員のみんなが、S.F.というもののおもしろさをよく知っているために、よけりにそのことが歯がゆく思えるのだらう。それがひいては現在のS.F.研のありまらうか、はつきりしなうか、うか、とにかくさういふムードを作り出しているのだらう。

いろいろとひどりことを書いたが、決して悪気があったわけではなう。ここで新入会員諸君に言っておきたい。S.F.研は非常に住みやすい所だし、かつ「S.F.研はおもしろい」だらう。なんて思っていたら、絶体おもしろくないぞ。これからおもしろくして行くのは君たち自身だ。このクラブはとっても自由なクラブだ。だからこそ自分か、かりして、なりと、方向を見失なってしまうことになりかねない。やりたり、ことがあつたら、かまわず、どんなやるべし、エンリョして、何もできなう。言ひたり、ことがあつたら、いくらでも言ひてよし、しかし、くちや不満は、いけなう。

そんなものがあるかは、入つてみればわかることだ、

る。さながらSFという大きな山の上を、ゆるやかにながれる清水のごとく、みんなごより集まってる。ブーカマヤって、ただで、だれも

そんなものがでるはずはないのだ。(そうは言ってもやはり人間のやってくること、たまにはありえないことではない、そういう時は、かげにまわってこそこそばやくのこと、決して面と向かってはダメ、特に幹事長の前では) しかし、悪い面ばかりではないのだよ。

D SF研の実態

・そのⅡ (あたかもほめそやすかのごとく)

前にも書いたとおり、このクラブは実に住みこまのよりクラブだ。SFをやるよつな人間は、だいたいの一風変わったやつが多いから、どんな人種が入ってくるかも一人ぼちになるような心配はまったくない。つまりありとあらゆる種類のホビイの持ち主がいるということだ。車ばかり、音楽ばかり、いやいやそんな一般的なもののばかりじゃない。中にはネコさえいれば何もいらなくなり、といった様な人もいるくらいなのだ。後で説明するが、我がクラブのなかにはまた種々のサークルがある。こんなことを言うと思議するかもしれないが、事実あるのだからしょうがない。(ここがSF研のおもしろいところなのだ)別にハッキリと決まってるわけではないが、実に行っているものがある。

わすれんぞんやるべし、エンリョしてりては何もできな。言りたりことがあたらしくらども言てよし、しかしぐちや不満はりけな

どんなものがあるかは、入ってみればわかることだ。(後で一応説明はするがそんなものを信じないといけないのだ)

SF研のたのしみの一つに百々の合宿がある。他のクラブや同好会の合宿と違ってメキキキキにたのしむ。(もともと筆者は他のクラブの合宿なんてまるっきり知らないケド)合宿に行くにあたっては、いつもいかめしいしかつめらしいテーマをいっばい決めて、意気なたからかに出かけて行くが、いまだかつて(大きな声では言えなげれど)すべてがまともな終ったことなど一度もない。しかつめらしいテーマが一つとしてまともなまらなない、というところはどつらうなことが、そのへんは貴方の想像におまかせする。でもホント言うと今年くらいはちゃんとカッコつたらしいのだからあんまりサボッテはダメ。

☀ S F 研の実態

。そのⅢ(具體的に。つまりは何をやるかということ。)

「S F 研て何や。てるの？」新人会員諸君は、そのうちこんな質問を受けるだろう。つけ加えるなら、タタケ君はこれに答えられないのだ。それを答えられるようにするため、つまり具體例を上げて説明出来るようにというわけで「分科会」というものがもつてある。

。読書会ー定められたS F 作品をみんなで読み、それについてのいろいろのことを討論する。

。S F 講座ー会員のS F についての知識の平均化及び向上のための企画を行う。

。科学会ーS F のS、つまりサイエンスについて、講座をひらいたり話し合ったりする。

。映画会ーS F 映画の鑑賞、及びその映画についての討論をしたりする。

。討論会ーいろいろなことについての討論(S F に限らず)の場をもつ。

以上のうちがある。委員は四月に改選され、二三人であたる。いまのところ活動は活発ではないが、春の声とともにモゾモゾと出て来そうなムードである。

さてその次にヒケエシは、前にものべたとおりサークルの中のサークルのお話しです。これも1952年前は大部よく活動していたらしいが、最近はずいぶんチャラッホラッムードで、まったく運動のキガツもみせていない。強いて上げるなら、幹事長を筆頭とする「中国語研究会」、横山氏を筆頭とする「軽音楽同好会」ぶらひのものであるが、名の知られてゐるものだけでもかなりあり、名の知られてゐないものも含めると、その数、千にのぼる。といわれればはいなり。

その他作家研究などがあるが、たりして活動してはいなり。興味ある方は庄司幹事長まで。

ついでに……

合宿が、年二回行われる。七〇年は夏は蔵王で、春は箱根で行われた。会としての同人誌、「アララ」があるが、それだけではものたりないと思う人は、ごんごんファンジンを出して下さい。以前にもS F サンデー・エントロピー・サイ等いろいろあります。いやありました。それらにまけないようリッパなものを期待しています。

人である。いまのところ活動は活発ではないが、昔の
声とともにモゾモゾと出て来そうなムードである。

明大SF研
会員の横顔

☆現会員

↓駿河台介

○井沢誠一郎(監査) 商14

①(好きな作家・以下同) P・K・ディック, J・G
バラード

②(横顔1非正面以下同) SF研におけるニ
ーウェーヴ派の旗手であり、自称ニヒリス
ト。ブロンクパターンのラジアルをはいたパブリカ
S.L.を乗りまわす伊達男。一見ハイセンス
ハイブローのごころ見えるが、実はナイショ。

○横山正紀(監査) 商14

① A・E ヴォクト, E・R・パロウス

② 女の子よりも星のほうが好き、というかわり
だね(ホントカネ)。天文にかけてはかなりの
エキスパート。スペ・オペ派の黒マウ。アート・ロッ
クが好きで、音楽についても一意見持てい
る。

○坂井紀子(監査) 文14

① F・ブラウン, R・ブラッドベリ

② SF研においての貴重な女流作家の一人。ミス
テリーの愛読者でもある。いふなればアルカ
イ、クスマイル?、をうかべた物静かな美女
合宿においてさえも他の会員がワロー
ギ、ギョーさわぐなかをただ一人物静かに見
つめていた、という伝説の持ち主。

○高野司(支部長) 法13

① H・G・ウェルズ, E・E・スミス

② 多分古典派だろうとは思われるが、はっき
りしない。話しを聞いても何を讀んでいるのか
わからない。去年から見ると、大部成長
したあとはまったく見受けられない。これからが期
待されている。

○竹田一良 法13

① E・R・パロウス, E・E・スミス

② 自称ロマンティストであるがホントはどうである
がよくわからない。スペ・オペ派らしいが、本人
の口からそんな話を聞いたことがない。

○山田護 法13

- ① H.クレメント、筒井康隆、東欧系作家
- ② 最近はおまりさゆがなくなつたが以前は東欧系作家の名前を口走っていたが、70年夏の合宿においてたいたことはなりたいということバクロされ、近ごろではとんとおとなしくなつた。しかしながら、当会では異色の存在であることにかわりはなり。

○坂井百合子(会計部長) エー3

- ① J.G.バラード、J.ブリッヂ
- ② 坂井紀子さんにつぐ貴重な女流作家、まだくのアンチスペ・オペ派の親的存在。ニューウェーヴ派でありかなりのうるささ、新会員にとてはかなりオツカない存在となるてありましよう。

○沼間一美 法13

- ① 特になし
- ② 口数少く、不言実行型の女性にはめずらしい人。でも決して男みたりなどというのではな

↓生田介

○小島美我一郎(監査) エー4

- ① T.M.ディンシ、J.G.バラード
- ② 井沢氏と並んで、SF研におけるニューウェーヴ派の首領的存在。4年になつた今でもかなりやるきがある(そのような感じである。)新入会員勧誘においてモかなり活発に活動。きまわり、その活躍は目を見はるものがある。

○庄司修一郎(幹事長) エー3

- ① C.D.シマック、筒井康隆
- ② やるきがある派でもトップレベルにある。ファミリー研の活動ならは、授業をば、ぼ、もかんばる。というほどの信ライできる人間(水永は得意のうちというが、ホントはは、きりしない。麻雀もしかり、SFの創作もしかりである。も、とくわしく知りたり人は、銀河出版発行の『司修一入門』を参照のこと。ついでながらかなりおもしろい人田である。ことにはまぢかりない。

○向後益男(支部長) エー3

- ① R.A.ハインライン、筒井康隆

② 科学を主体にしたSFにおいては、当会での第一人者的存在。当然ハイライシなどを好み、かなりの意見をのべる。生田の部室に入スリする入固は、みんなタカカレ少なかれ、おかしな一面をもっているが、彼とて例外ではない。ついでながら部室には彼の友人の方が彼よりもよく来るのはどうしたわけであらうか？

。竹浪隆平 農13

① 特になし

② 部室にもあまり来ないし、例会にもあまり出席しない。従って好きな作家もあつたない。しかしながら、コンパ、合宿等には必ず顔を出す。新入生にとってはかなりナツをふくんで人となるであらうと思われる。

。石川正興(編集局長) エ12

① E・R・パロウス、M・ラインスタ

② SFばかりでなく、ミステリーや三文小説にまで手をひろげ、今ではまったくひっこみがかなくなってきた。本来はスペ・オペ派であるが、最近はなにかなんだかわからなくなつて来ている様で

かなりなやんでいそうしい。車が大好きで、すぐどこかへ行ってしまうくせをもっている。

↓ 新入会員 介

↓ 生田 介

。友広 匡雄 エ12

① ジョー・エル・ウェル又

② 新人では、かなり読んでる方に属するらしい。SFとは小学校ごろからのおつきあいで、これも新入生しい人である。

。深谷 栄 エ11

① 特になし。

② SFよりも、純文の方に興味があるらしいが、これからSFもバリバリ読んでいきそうである。SFにあまりつかってりなりのには、かなりよいものを書くので将来に期待がもてる。

。久野 健二 エ11

① カレドリック・ブラウン

② 生田の 新会員の中では一番読んでいる。ブラウンとブラットベリを好むという変わりだね。筆者としては一番期待している有望新人（これからもがんばってもらいたい）。

宮腰 正 エー1

① 特になし

② SFにはあまり興味がなさそうであるが、このクラブにはいって来たからにはさうも言ってはいられないので必死で読んでくれる。はやくSFにならばバリエーションももらいたい。

李 讚明 エー1

① 特になし

② SFはこれから好めるつもり、などと書いてあるので、あまり期待はしていない。他の人が入るので、たぶんな感じであるが、入った以上がんばってもらいたいものである。遠く将来に期待をしている。

↓知 泉介

本多 良治 政経12

① ブラッドベリ、星新一

② SFとは高ーのころからのつきあいであったらしい。星新一等のエスプリのきいたSFが好きであるらしい。SFの他には映画が好きであるというので飯田さんのあとをついてもらいたい。

後藤 誠一 女11

① E・R・バロウズ、星新一

② スペ、オペ派であるという。その他、星新一、などのコミカルなものも好きである。SFの他にもっと好きがきいらし。新人ではめずらしくスペ・オペ派であるのでこれからが大変だろう。これからに期待している。

待をしている。

。藤原 延久 政経 1

①「E・R・バロウズ」 「E・E・スミス」

②この人もスペ・オペ派なのです。和泉には読んでも、新入会員が多いので、楽だと思われるのです。有望新人の一人です。

。角田 裕一 高 1

①ハイソライント、バロウズ、アシモフ

②だりたりのSFならなんでもいいといった人でなかでもスペ・オペがいりらしい。こういう人が当会では期待される人になるであらうということは、かんだ人に予想できる。がんばってもらいたい。

編集後記

。ガイダンスを聞きながら、必死になって切り切ったんだよ、別に木メロとは言わねえけれど我ながらよくやったと思うよ、ほんとは。

。生田は去年はたった一人だったけど、今年はどういう風なふきまわしが五人もの新会員をむかえ、広り部室もせまく思えます。向後支部長がんばろうネ マンダム生田に栄えあれ。

。編集長の横で黙って見ただけ、しかしその気苦労たるや相当なもの(影の編集者)

。会員の横顔についての苦情その他は一切受けつけません。悪しからず(ザマーミロ)

5755 1971, APR No. 11

昭和46年4月18日

編集者 石川正興

発行者 明文SF研 編集局

印刷 北上印刷所

製本 相模製本所



MSFC

MEIJI UNIVERSITY SCIENCE FICTION CLUB